

4年の歳月をかけ

# 古代・中世の謎

## 西富士道路埋蔵文化財発掘調査

市教育委員会は、昭和53年4月から4年間にわたり、西富士道路埋蔵文化財発掘調査を行いました。このほど調査結果をまとめた報告書を発行しました。

発掘の経過や出土遺物をこと細かに集約した報告書では、調査地域が奈良、平安時代の集落(東平遺跡)であり、全国的にもまれにみる遺跡群であった、と報告しています。そこで、この調査結果の概要について紹介します。

## 東平遺跡から大規模な住居群

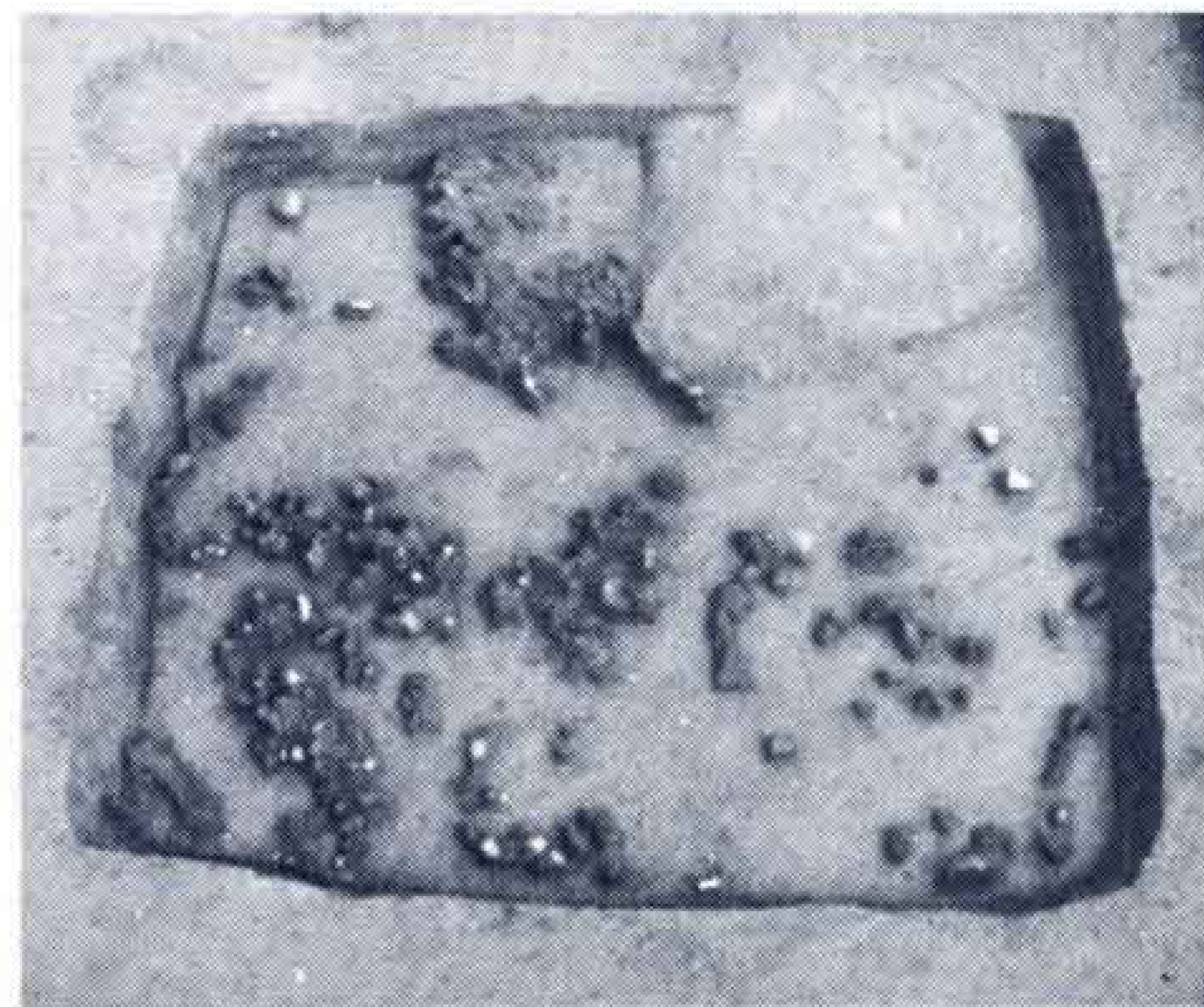
この調査は、昨年4月に開通した西富士道路及び、これに接続する田子浦臨港線の建設に伴い行ったものです。発掘調査面積5万9,230平方メートルを、AからFまでの6地区に分けて調査し、総事業費は約3億円。

調査区域には、奈良、平安時代の遺跡といわれている東平遺跡があるため、その解明がなされるものと高い関心を集めました。

調査の結果、堅穴式住居址129軒、倉庫跡と考えられる掘立柱建造物址53棟が発見されました。先の昭和40年に行った調査と合わせると、実に堅穴式住居址250軒、掘立柱建造物址61棟にもなります。これは、この時代のものとしては、県内でもまれな大集落であったといえます。

### 律令体制の中心的役割

今からおよそ1,200年位前の奈良時代、都では律令(現在の法律)に基づき、天皇を中心とした中央集権の政治が強くおし進められていました。  
 「青丹よし、<sup>あおに</sup>寧楽のみやこは <sup>なら</sup>咲く花の薫ほふが如く <sup>に</sup>今盛りなり」と歌にもうたわれているように、大内裏に通じる都大路には、市もたち全国から集められた特産物もそこで取引され、都の生活は活気に満ちあ



堅穴式住居址

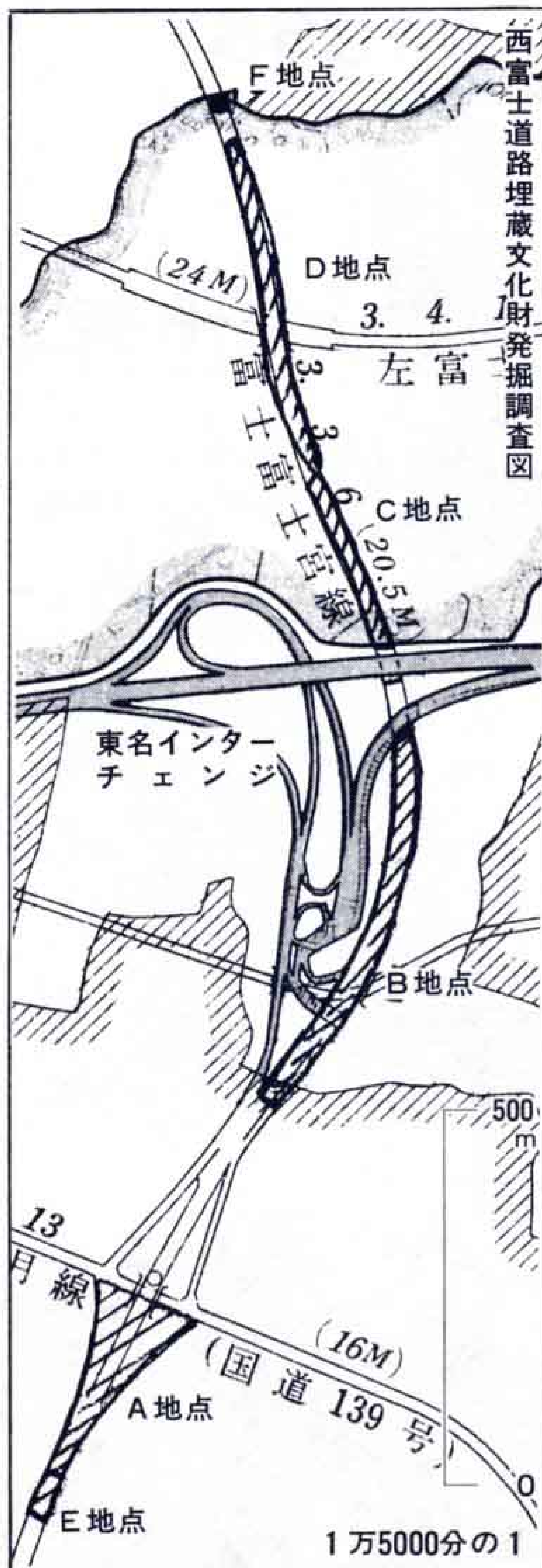
ふれていました。

この同じ時代に、富士市にも東平遺跡を始め、天間代山、中桁、国久保、舟久保、宇東川などに、人々が生活していた跡がうかがえます。しかし、都の豊かな生活に比べ、人々はそまつな堅穴式住居に住み、律令に基づく税負担や労役に窮々とした生活を送っていました。

このような中で、東平遺跡は他の遺跡と比べ規模がきわだって大きく、他の集落とは異なり、律令体制の中での地方の中心的役割を果たしていた集落であったと思われます。

### 焼けたままの住居跡も

東平遺跡(伝法A地区)からは、先にも述べたように、堅穴式住居址



# を解く

## まとまる

や掘立柱建造物址のほか、遺構や数多くの土器、鉄製品などが出土しました。

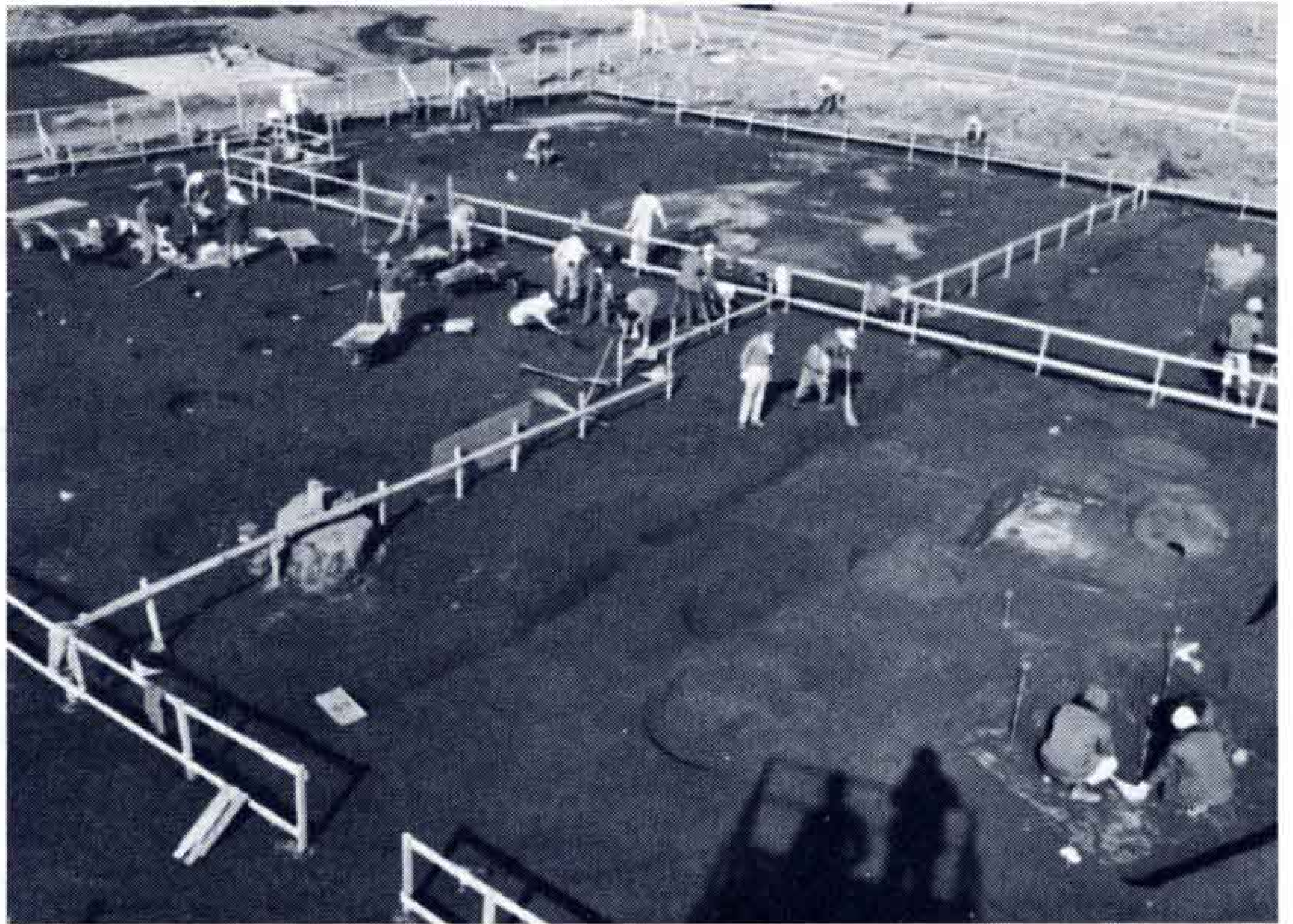
住居址の中には、カマドに釜をかけたまま急に家を引っ越してしまい、釜に使っていた土器がそのまま出てきたり、火事のため1軒が全焼してしまい、柱に使っていた丸太や板などが、そのまま灰になって残っていた住居址もありました。

この他、「須恵器」と呼ばれる灰色の土器や「土師器」と呼ばれる素焼きの土器、鉄製品として、鉄鏃・刀子・ちょうな・糸車なども多数出土しました。

## 墓穴に古銭など

B、D地区とした東名インター東側からは、墓跡とも考えられる土坑が約500基と溝状遺構、それに古墳1基が発見されました。

土坑は、室町時代から江戸時代初めにかけてのものと思われ、ほとんどが直径1m前後の円形です。十数基の土坑墓からは、人骨に伴い天目茶碗、火打ち石、小柄、古銭などが出



発掘調査面積は約6万平方メートルに

土しました。このようなことから、当時、死者の埋葬の際にこれらの物をそえる風習が、すでに始まっていたと考えられます。そして、これらの遺物が限られた土坑から出土して

いることは、生前の身分を意味していたのではないのでしょうか。

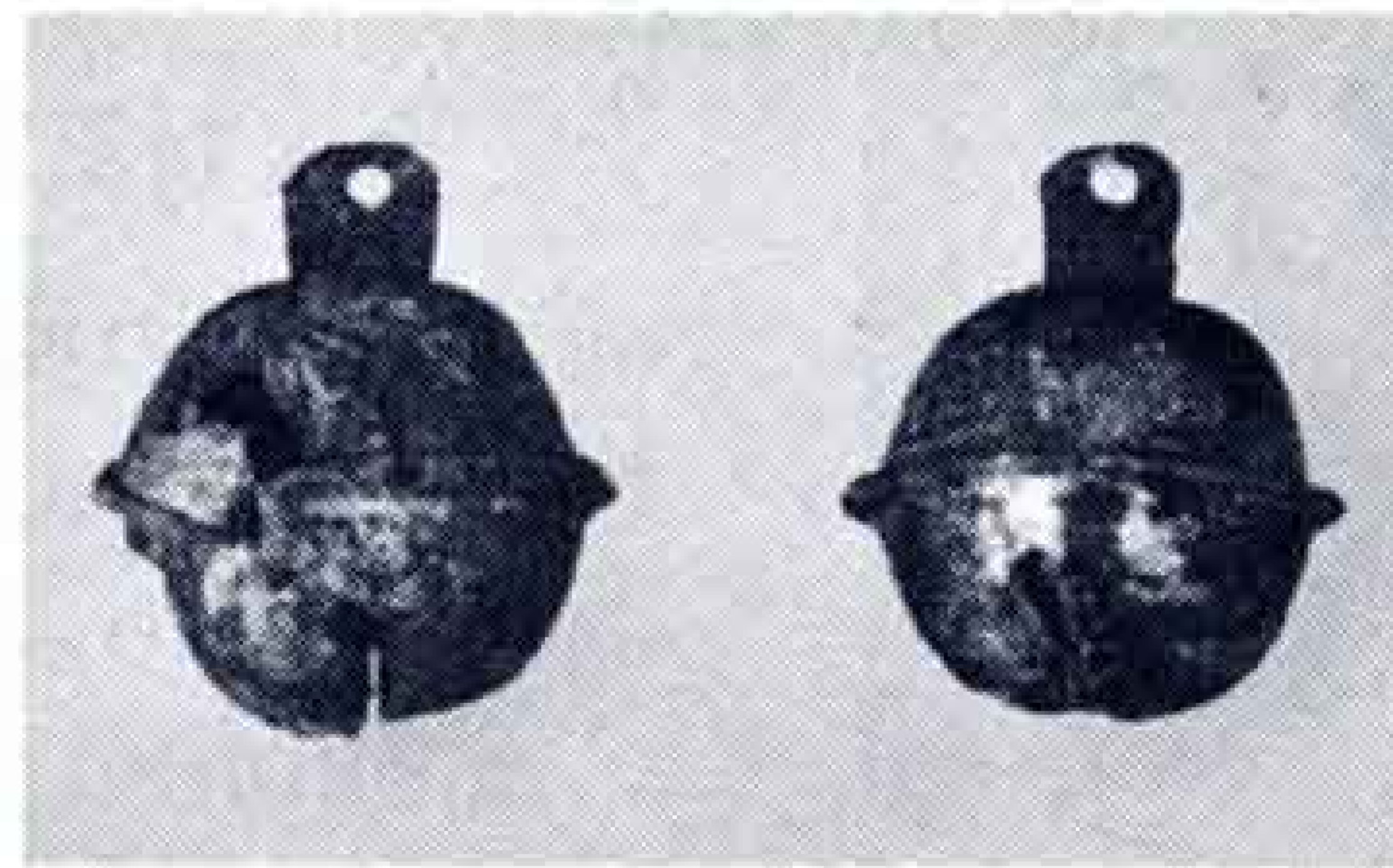
また、この調査区からは、縄文土器片、布目瓦片、中世・近世の陶磁器片、中国銭が出土しています。

# ほぼ完全な状態の横沢古墳

F地区とした横沢古墳は、直径約16mの大型円墳で、6世紀の後半から8世紀初頭までのころのものと思われま。墳丘の保存状態は極めて良く、住時の姿に近い状態でした。

この古墳の特徴は7世紀ころ奥壁を造り変えており、このようなことは他の古墳には、あまり例が

見られません。出土遺物は、石室及び前庭部、溝などから人骨、馬具、鈴、直刀などが多数出土しており、中でも金銅製の鈴は他に例がありません。



横沢古墳出土・金銅製鈴

これらの遺跡から出土した遺物を研究することによって当市の古代から中世における人々の生活実態や文化を知ることができます。

—— 富士市の古代史を知る資料に ——

## 西富士道路埋蔵文化財発掘報告書を発行

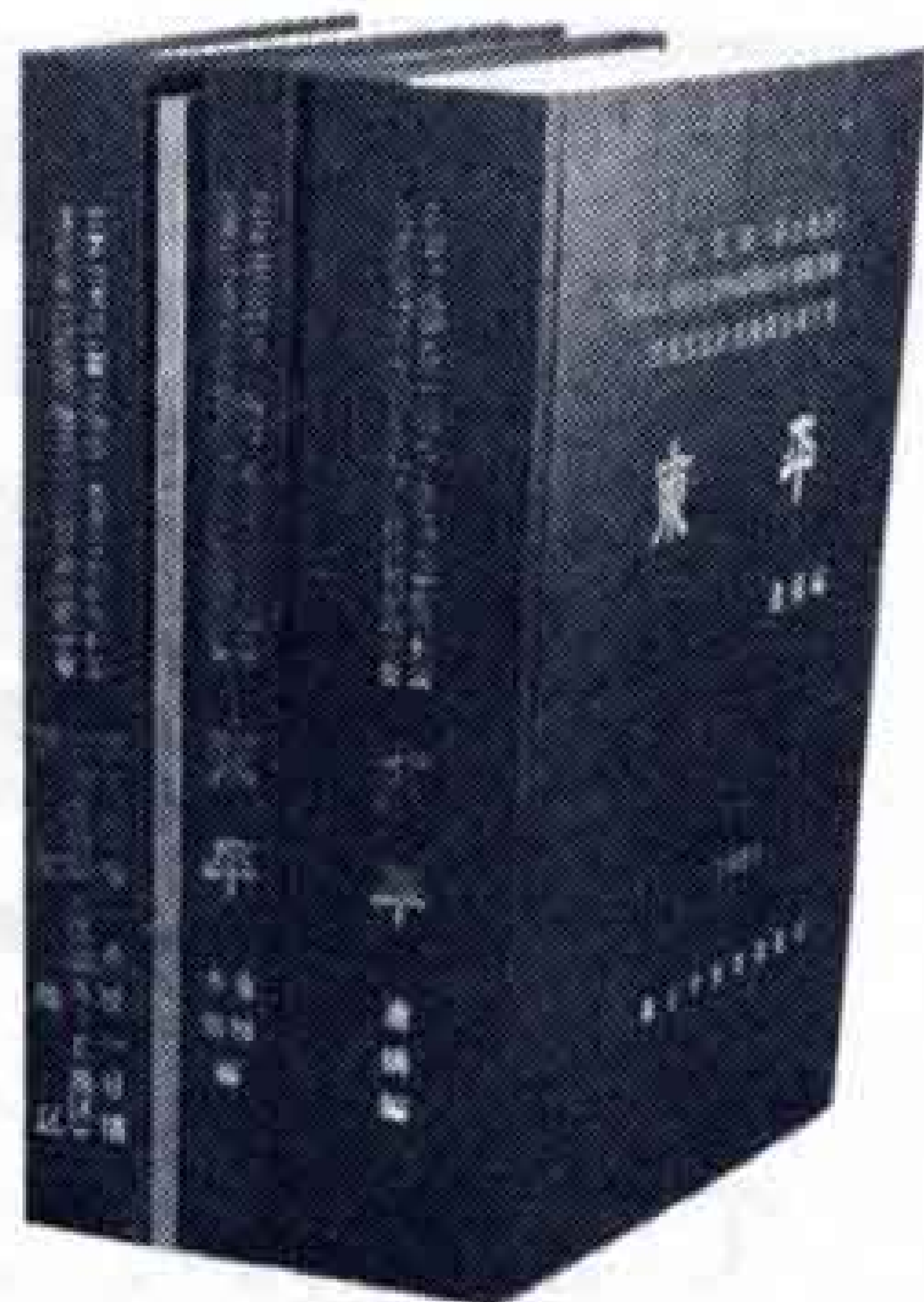
4年間にわたる西富士道路埋蔵文化財発掘調査は、当時の歴史を解明する上で貴重な調査となりました。

市教育委員会は、この調査結果を多くの市民に知っていただき、また、本市の古代史を知る上の資料として活用いただこうと、報告書を発行しました。部数に限りがありますので、お早めに申し込んでください。

■ 西富士道路埋蔵文化財発掘調査報告書 (A4版)

「東平」遺構編  
「東平」遺物・考察編 } 価格 1万5,000円  
「東平」遺物図版集 }  
「横沢古墳、中原1号墳、伝法遺跡群、天間地区」 価格 8,000円

☆申込み、問合せ先 教育委員会文化振興課 ☎51-0123 内線610



お早めこ!

■ 限定販売!  
■ 価格 1セット 2万3,000円